

かみくげ 恐竜の里新聞

令和3年4月20日

発行…上久下恐竜の里づくり部会

第132号

上久下地域
自治協議会
0795 78 0001

伝統建築を学ぶ第2回勉強会

上久下地域自治協議会は、3月27日に旧友井家住宅で伝統建築を学ぶ第2回の勉強会を開催しました。第1部は檜皮職人の技を目の前で見学会を実施。集まった人達は、若手職人が実演する檜皮の整形と、模型を使った屋根葺きの見事な技術に見入っていました。

第2部は日本の木造建築物を守り伝える伝統技術がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを祝して、記念式典を開催。林市長や岸田教育長の祝辞を受け、横断幕のお披露目とくす玉開披を行いました。お披露目した横断幕は後日、地域の人の目に留まるように地域づくりセンターと上久下小学校に取り付けました。

第3部では、国の重要文化財に指定されている旧友井家住宅の中で、茅葺住宅などの勉強会を実施。友井辰哉さんの司会の下に、広田から野坂に移築する際に関わった技師や大工さんの話、当時住んでいた人の話を伺い、兵庫県教育委員会文化財課の田中主査から文化財の活用方法の講座も聴くことができました。参加者からの「現在地から上久下へ再移築することは可能でしょうか?」という質問には、専門家から「文化財は保存することも大切だが、活用することも求められるようになっていく。重要文化財を移築するハ-

ドルは高いが、地域の熱意と所有者である丹波市の協力があれば不可能ではないとの返答でした。



くす玉の開披



若手職人たちの檜皮葺実演



旧友井家住宅内での勉強会



完成した横断幕のお披露目

自治会長会 新役員決まる

上久下自治会長会は、令和3年度の新自治会長選出が終了したことを受け、3月17日に新旧合同の自治会長会を開催。新しく選出された自治会長は、阿草藤原敏宏氏、上滝大野剛氏の2人です。昨年度から引き続き任に就かれるのは、青田村上英一氏、下滝藤原常夫氏、篠場村上英明氏、畑内柳川瀬洋幸氏、北太田大岡正己氏、太田村岡直宏氏の6人です。今年度自治会長会の会長には藤原敏宏氏、副会長に大野剛氏が選出されました。自治協議会の行事催しへのご協力をよろしくお願いいたします。



地域づくりセンターに取り付けた横断幕
向かって右が「檜皮の里上久下」
左側が新調した「丹波竜の里かみくげ」

上久下小学校 卒業式

上久下小学校(中澤正樹校長)で3月23日に、卒業証書授与式が執り行われました。今年もコロナ禍の影響で、在校生と保護者の出席はあったものの、来賓は2人に絞られました。卒業生の6年間の思いを発表する場や、在校生たちが代わって卒業生に贈る言葉を発表する場でも、先生方が感染防止の工夫を色々とされているのが分かり、印象に残る卒業式となりました。中澤校長から「遠い将来に向けて、自分が本当にやりたい事を見つけたい。上久下地域への感謝の気持ちを大切にしたい」と、2つのメッセージを贈られ、11人が上久下小学校を巣立っていきました。元氣村かみくげからは、卒業記念として丹波竜のお守りや文具セットが贈呈されました。



PTA 永井之康会長からの祝辞

慧日寺晋山式挙行

慧日寺では4月3日に妙心寺管長^{げいか}殿下を始め多くの寺院、ご来賓の臨席の下、開山の500年遠諱法要ならびに晋山式が執り行われ、知真和尚が晴れて慧日寺第23世住職に就任されました。稚児行列が到着後、山門では知真和尚が門看師との禅問答の後、入山が許され晋山式に臨みました。

コロナの関係で規模を縮小しての挙行となりましたが、厳粛な中にも暖かい雰囲気のある式典となりました。

コロナ禍の中いろいろと難しい問題もありましたが、この盛儀が滞りなく執り行われましたと、ひとえに皆様のご理解とご協力のおかげと感謝を致しております。

晋山式の華、稚児行列も35名の稚児の参加をいただき、参加児童は普段目にするこのない華やかな衣装を身に纏い楽しんで歩いてるのが印象的でした。一生の思い出になることでしょう。

将来に残る記念アルバムはマスク姿の写真が多く残り少し残念な気もしますが、これはこれで後世の人々にはこのような時代もあったのかとこの時代に思いを馳せることになるでしょう。

今後は知真新住職を中心に、また38年間の永きに渡りご尽力をいただきました前住職靖厳和尚の経験知恵もお借りしながら、当山の更なる興隆と地域の発展に努めていきたいと思っております。

慧日寺晋山式実行委員会



参道を行く稚児行列



山門に入る知真新住職



本堂での晋山式

世界最小の恐竜卵の横断幕作成

上久下が世界最小の恐竜卵化石発見地であることを訪れる人に知ってもらうおうと、元気村かみくげが横断幕を2枚作成。丹波竜化石発掘現場の展望広場と化石発掘体験場の横に取付けました。発掘現場のガイドをする時も、化石発掘体験の説明をする時にも来訪者が分かり易くなりました。



丹波竜化石発掘現場展望広場に取付けられた横断幕

小学校へ遊具のプレゼント

上久下小学校の学校運営協議会(村上英明会長は、小学校の遊具が老朽化したため撤去されている現状を知り、思い出づくり部会(土田正博部長)を立ち上げて新しい遊具作りに取り組んできました。遊具のアイデアは今春卒業する6年生から募集して、地元の大工さんや電気工事屋さんら約10人がボランティアで工事に参加。材料費等の建築費用は、上久下小同窓会や元気村かみくげスポーツ21が援助して、滑り台やボルダリングなどの立派な木製遊具が完成しました。3月23日の卒業式の後でお披露目があり、6年生は晴れ着のまま早速に登って新しい遊具を楽しんでいました。中澤校長は「6年生のアイデアを地域の皆さんが実現してくれたオリジナル遊具です。大変感謝しています」とお礼を述べました。この後遊具に安全対策を施して、新学期から児童たちが使う予定になっています。

(注：某新聞社の記事で、資金援助団体名に「かみくげ宿」と記載されていましたが、正しくは「企業組合元気村かみくげ」です。



完成を喜ぶ6年生と関係者ら

上久下小10人の入学式

晴天の下、4月8日に上久下小学校の入学式が保護者と教職員のみで参加で執り行われました。新入生10人は緊張しながら、先生方のお話や、児童代表 吉竹悠乃さんの歓迎の言葉をしっかりと聞いていました。新しく着任された八尾滋樹校長から「3つのお願いがあります。①自分の命も他人の命も大切にしてください。②大きな声で挨拶をしてください。③キラキラの笑顔でいて下さい」という言葉をもらい、上久下小学校の仲間入りをしました。今年度の全児童は57人、2年生と3年生が初めての複式学級になります。



新入生に児童代表から歓迎の言葉

5月の予定

- ◆ 5月14日(金) 恐竜の里づくり部会 午後7時30分から
- ◆ 5月15日(土) 地域づくりセンター 清掃(太田) 午前9時から
- ◆ 5月20日(木) 自治会会長会 午後7時30分から
- ◆ 5月29日(土) 元気村かみくげ総会 午後7時から
- ◆ 5月11日・25日(火) 恐竜時計台のカフェ 午前10時から